※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | T0315 |
|---|---|

# 令和８年度　教養科

| 教科 | 教養 | 科目 | （学）高校教養講座（理科系・パソコン） | 単位数 | １単位 | 年次 | ３～４年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | なし | | | | | | |
| 副教材等 | 自作プリント | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

社会人として、ワープロソフトや表計算ソフトを使用することは、重要になってきています。自作プリント等を活用して、到達度に応じた個別指導を行います。１つ１つの課題を解決しながら、スキルアップをめざします。

2　学習の到達目標

・実習課題を通じて、情報機器、ソフトウェアを活用することができる。（知識及び技能）
・お知らせポスターなど、日常生活のメディアについて、より伝わりやすい文言、配色を考えるなど表現力を身につける（思考力、判断力、表現力等）
・学んだことを活用し、日常に活用しようとする態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・一つ一つの課題を解決することで、知識を深め、修得レベルのアップが実現できている<br>・一つ一つの課題を解決することで、使用する技術を適切に活用している | ・一つ一つの課題を解決することで、学んだ内容を統合、発展、応用することが、解決課題の中で表現されている | ・ワープロソフトの活用に関心を持ち、意欲的に文書作成する態度が見られる<br>・表計算ソフトの活用に関心を持ち、意欲的にデータ処理する態度が見られる |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

4　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 通年 | ワープロ | ○ワープロソフトの使い方 | a: 課題作成を通して使用する技術を適切に活用している。<br>課題作成を通して、知識を深め、修得レベルのアップが実現できている。<br>b: 課題作成を通して学んだ内容を統合、発展、応用できている。<br>c: 社会（日常、仕事）で必要なワープロソフト活用の態度が身についている。 | ・学習状況の観察<br>・課題作品<br>・発表<br>・実技テストの結果等 | ・学習状況の観察<br>・ノートやワークシートの記述<br>・課題作品<br>・レポート<br>・自己評価等 | ・学習状況の観察<br>・ノートやワークシートの記述<br>・レポート<br>・自己評価等 |
| | 表計算 | ○表計算ソフトの使い方 | a: 課題作成を通して使用する技術を適切に活用している。<br>課題作成を通して、知識を深め、修得レベルのアップが実現できている。<br>b: 課題作成を通して学んだ内容を統合、発展、応用できている。<br>c: 社会（日常、仕事）で必要な表計算ソフト活用の態度が身についている。 | ・学習状況の観察<br>・課題作品<br>・発表<br>・実技テストの結果等 | ・学習状況の観察<br>・ノートやワークシートの記述<br>・課題作品<br>・レポート<br>・自己評価等 | ・学習状況の観察<br>・ノートやワークシートの記述<br>・レポート<br>・自己評価等 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度